

2027 年春の花粉飛散予測

九州から東海は例年の 110～130% 関東甲信から北海道は 50～70% ～法人向けに花粉飛散予測資料・予測データを販売します～

一般財団法人 日本気象協会(本社:東京都豊島区、理事長:守屋 岳)は、2027 年春の花粉飛散予測を 2026 年 9 月 30 日(水)に発表します。あわせて、法人向けに花粉飛散予測データおよび画像の販売を開始し、都道府県別や週単位の詳細な花粉飛散量予測、花粉対策商材の需要予測コンサルティングを提供します。

■ 2027 年春の花粉飛散予測[一部抜粋]

<例年比>

2027 年春の花粉^{※1} 飛散量は、九州から東海では例年^{※2}の 110～130%とやや多いでしょう。関東甲信から北海道では例年の 50～70%と少ない見込みです。

<前シーズン比>

前シーズン(2026 年春)と比べると、九州から東海では同じかやや多くなる見込みです。一方、関東甲信から北海道では少ない傾向が予想されます。

<予測の根拠>

2026 年夏は、西日本を中心に気温がかなり高くなりましたが、一方で 6 月や 7 月に日照時間が少なかった地域が多く、雄花の形成がやや抑えられる気象条件となりました。

また、前シーズン(2026 年春)は、近畿と関東甲信から北海道で花粉飛散量が多くなりました。前年に花粉飛散量が多かった場合、翌年は雄花の形成が減少する傾向があります。

これらのことから、2027 年春の花粉飛散量は、九州から東海では例年に比べやや多く、関東甲信から北海道では例年より少ない見込みです。

<東京都千代田区の飛散予測>

千代田区(東京都)では 2027 年春の花粉飛散量は、例年よりやや少ない予想です。しかし、最近 10 年では、花粉飛散量がやや少ない年でも、花粉が 100 個以上/cm³と極めて多く飛ぶ日は 12～14 日ほど観測されています(日本気象協会観測)。

花粉症の方は、飛散量が少ない予測であっても油断せずに対策を行いましょう。

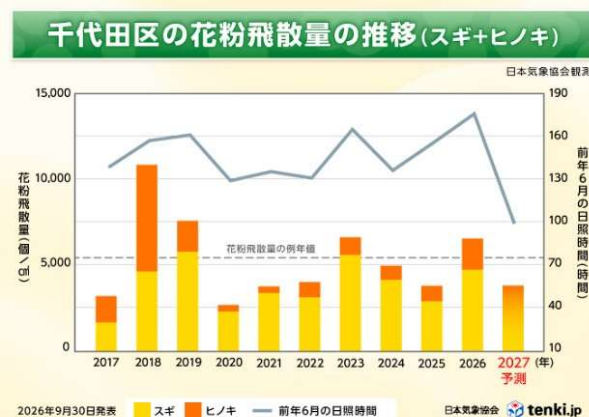
※1 花粉:スギ・ヒノキ、北海道はシラカバ

※2 例年:過去 10 年(2017～2026 年)の平均値



2027年 各地域の花粉飛散傾向			
地域	例年比		前シーズン比
	傾向	割合	傾向
北海道	少ない	50%	非常に少ない
東北	やや少ない	70%	少ない
関東甲信	やや少ない	70%	少ない
北陸	やや少ない	70%	少ない
東海	やや多い	110%	やや多い
近畿	やや多い	110%	並
中国	やや多い	120%	やや多い
四国	やや多い	120%	やや多い
九州	やや多い	130%	やや多い

2026年9月30日発表 日本気象協会 tenki.jp





■花粉飛散予測の公開について

2027 年の花粉飛散予測は、天気予報専門メディア「tenki.jp」の花粉飛散情報ページや気象予報士のポイント解説ページにて、順次公開・更新します。

花粉飛散情報 URL: <https://tenki.jp/pollen/>

※花粉飛散情報ページは 2027 年 1 月ごろに公開予定です。

気象予報士のポイント解説 URL: <https://tenki.jp/pollen/forecaster/>

本情報について、報道目的以外での無断の法人利用はご遠慮いただいております。商品・サービスの宣伝や販促活動など、本情報の利用を検討される場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。

◆日本気象協会の花粉飛散予測とは

日本気象協会は、1990 年からスギ花粉飛散予測を発表しています。日本気象協会の花粉飛散予測は、前シーズンの花粉飛散状況や気象観測データ、雄花花芽の現地調査結果などをもとに作成しています。さらに、全国各地の花粉研究会や協力機関からの情報をふまえ、総合的な分析に基づいて予測しています。

■（法人向け）2027 年春の花粉飛散予測 各種有償サービスについて

日本気象協会では、シーズン全体の花粉飛散予測資料や週単位の予測データなど、利用目的に応じた各種予測資料・予測データの販売を行っています。

花粉症対策市場における商品の需要予測や販売計画、プロモーション計画の立案などに、ご活用ください。

(1) 2027 年春の花粉飛散予測に関する詳細資料

2027 年シーズンの花粉飛散予測を、文章および画像による詳細資料として提供します。

- ・都道府県別の花粉飛散量(例年比・前シーズン比)
- ・スギ花粉の飛散開始時期
- ・花粉飛散のピーク時期
- ・予測根拠

なお、詳細資料はシーズン中に複数回更新します。掲載項目は提供時期により異なります。

(2) 2 年先長期気象予測 花粉商材レポート

2027 年シーズンに加え、2028 年シーズンを対象とした花粉関連商材の市場規模予測および花粉飛散傾向をレポートで提供します。

- ・2027 年シーズンおよび 2028 年シーズンの花粉関連商材(鼻炎薬や目薬など)の市場規模予測と前年比
- ・花粉症関連商品の売れ始めるタイミングや需要ピークのタイミング
- ・2027 年シーズンおよび 2028 年シーズンの花粉飛散傾向

また、レポート提供に加え、企業やブランドごとの個別商材を対象とした需要予測モデルの構築にも対応しています。最長 2 年先(24 カ月先)までの需要予測やコンサルティングも実施しています。

<参考>

花粉症関連商品を扱う企業向け

「2 年先長期気象予測 花粉商材レポート」の提供を開始

～花粉飛散予測から市場規模・需要タイミングまで長期的な事業判断を支援～
(2026 年 9 月 29 日発表)

<https://www.jwa.or.jp/news/2026/09/46502/>



詳細は以下にお問い合わせください。

■有償サービスに関するお問い合わせ先

(1)2027 年春の花粉飛散予測に関する詳細資料の企業での利活用について

一般財団法人 日本気象協会 防災・気象 DX 本部 気象 DX 事業部 メディア事業課

TEL:03-5958-8187 FAX:03-5958-8203 メールアドレス:sales_pollen_media@jwa.or.jp

(2)2 年先長期気象予測 花粉商材レポートおよび個別の花粉商材需要予測コンサルティングについて

一般財団法人 日本気象協会 防災・気象 DX 本部 気象 DX 事業部 気象デジタルビジネス課

TEL:03-5958-8154 FAX:03-5958-8203 メールアドレス:ecologi_sales@jwa.or.jp